

南会津 のうりんニュース



今月の写真:「ヒメサユリ」(南郷村)

新緑が眩しい木々の影響でしょうか、小鳥のさえずりも最近弾んで聞えてきます。

高清水自然公園内には、非常に貴重な植物であるヒメサユリが自生しています。開花が待ち遠しい、今日この頃です。

今月の内容:

- 今月のトピックス
 - ・新規就農者激励会を盛大に開催!
 - ・JAとの移動農林事務所を開催!
- 水田農業改革ミニニュース(第1回)
水稲エコファーマー誕生
- 南会津の名水の話
「清水ばた」 田島町
- 特集
お米特集(第1回)
- 農林事務所からお知らせ
新しい「そばマップ」完成!

平成17年6月10日発行 福島県南会津農林事務所

今月のトピックス

新規就農者激励会を 盛大に開催!!



去る5月12日(木)に平成17年度南会津地域新規就農者激励会を、総勢50名が集い、南郷村「南郷開発総合センター」において開催しました。

今年度就農した11組(14名)の新規就農者並びに2名の緑のふるさと協力隊員が自己紹介を兼ね自分の農業経営の概要や農業に取り組む意気込み等を披露しました。続いて、地域農業のリーダーである指導農業士・各町村認定農業者組織代表者、農業経営の先輩である青年農業士・農業青年クラブ会長・各町村・JAから、地域農業の担い手としての歓迎や激励の言葉、農業経営のノウハウ等についてアドバイスを受けました。

また、激励会終了後会場を移し、南会津農業青年クラブ主催で懇親会が開催され、多くの農業青年クラブ員やJA営農担当職員も加わり、活発な情報交換や懇談により大いに盛り上がりました。

今回の激励会や懇親会を通じ、同じ地域の農業関係の仲間としてのつながりを強め、地域におけるスムーズな就農定着や連携の促進をはかる上で大変有意義なものとなりました。

(農業振興部)

JAとの移動農林事務所を開催!



去る5月11日に、JA会津みなみと農林行政の課題・農林業の振興方策等について意見交換を行う「移動農林事務所」を実施しました。

「移動農林事務所」は、これまで管内の各町村とは平成13年度から今年まで毎年継続的に実施して

(2ページに続く)

(1ページから続く)

きましたが、農林業振興を図る上でJA会津みなみとの意見交換も必要であることから、今回初めてJA会津みなみと「移動農業事務所」を開設しました。

今回の「移動農業事務所」では、農林業の現状や農業後

継者問題・集落営農の推進など、地域振興を図る上で有意義な意見交換がなされました。

この「移動農業事務所」を契機として、南会津地方の一層の地域振興を図りたいと考えています。

(地域農林企画室)

水田農業改革ミニニュース(第1回)

水稲のエコファーマー誕生

水田農業改革推進本部

米 価の低落傾向の中、「売れる米づくり」を進めることが緊急の課題となっております。

県では特別栽培米やエコファーマーによる米づくりを推進していますが、平成17年3月に南会津管内では初めての水稲エコファーマーが13名誕生しました。館岩村で12名、只見町で1名が認定され、今年度から5カ年計画で土づくり、減農薬、減化学肥料の目標に向かって取り組まれます。

また、エコファーマーへの関心も高く、集落ぐるみで取り組みを検討する地区もあり、今後、ますます増えるものと期待されます。

現在検討中の地区は下郷町張平地区及び中妻地区、伊南村白沢地区及び小立岩地区です。

詳しい説明等が必要な場合は、農業普及部まで連絡をお願いします。



認定おめでとうございます。(敬称略)

【館岩村】

赤松信行	星 清次	星 利一	阿久津啓二
芳賀拓也	芳賀英助	大山義幸	小椋 実
大山 卓	星 一成	齋藤徳雄	
会津高原たていわ農産 (有限会社)			

【只見町】

三瓶清志

南会津の名水の話

清水ばた (田島町)

田島町農林課



「清水ばた」の湧き水は、田島町から南郷村へ向かう国道289号のだいぶらスキー場手前、駒止湿原の入口となる針生地区の民宿清水荘の敷地内にあり、冷たくきれいな水が湧き出しています。

昔は、村中の人々が来て使用していましたが、今は、子供の水遊びや農作業をした人の道具洗い、夏に飲み物やスイカなどを冷やすのに利用されています。

誰でも利用できますが、民宿の敷地内にあるので、迷惑のかからないようにしてください。



～環境にやさしい米づくりを目指して～

米政策改革も2年目を迎え、「消費者重視・市場重視」の米づくりが求められています。

県及び関係機関等では、「水田農業改革アクションプログラム」を策定し、特色ある地域条件を生かし、多様なニーズに、的確に対応できる生産体制の整備やトレーサビリティの導入などにより、安全・安心、高品質・良食味、低コスト等の売れる米づくりを目指しています。

南会津地方では、特に環境にやさしい米づくりの観点から「特別栽培」と「エコファーマーによる栽培」の推進、また低コスト化と農作業労力低減のための「水稲直播栽培」の推進に力を入れています。

平成16年度は、JA会津みなみが窓口となり「あきたこまち」の特別栽培米が初めて取組まれました。また館岩村と只見町で13戸(17件)の農業者が南会津では初めてとなる水稲のエコファーマーの認定を受け、環境にやさしい米づくりの取組み拡大に向け、大きな第一歩が踏み出されました。

今後、多くの農業者が環境にやさしい米づくりに取組むことが期待されています。

表：南会津地方の年度別ガイドラインと平成16年度実績

(単位：ha)

	H14	H16目標	H16実績	H16達成率	H17目標	目標(H19)
環境にやさしい米づくり	0	200	72	36%	550	1,450
有機栽培	0	0	0		5	20
特別栽培	0	70	37	53%	125	230
エコファーマーによる栽培	0	130	(35)	(27%)	420	1,200
水稲直播栽培	20	80	60	75%	85	100

※エコファーマーによる栽培のH16実績及びH16達成率の()書きは、H16年度に認定を受けたものであり、栽培についてはH17年度から始まる。

1 売れる米づくりのための条件整備

県では、消費者・実需者の多様なニーズに対応した、米づくりに必要な機械等の導入を促進するために、事業を行っています。

- 事業名：売れる米づくり条件整備事業(県単事業)
- 事業内容：

- ①環境にやさしい米づくりのための機械整備
(側条施肥田植機、マニュアルスプレッド等)
- ②1等米比率、食味値等の向上のための機械整備
(色彩選別機、食味計等)
- ③低コスト稲作推進のための機械整備
(直播機、コンバイン等)

- 補助率：一般型にあっては1/3以内
- 採択基準：概ね10ha以上を受益面積とする等



皆さんも環境にやさしい米づくりを行ってみませんか？

2 環境にやさしい米づくり

- 特別栽培米：化学合成農薬と化学肥料由来窒素成分の両方について、地方自治体等で定められた慣行栽培の基準から50%以上削減した栽培。
- 水稲のエコファーマーによる栽培：たい肥等による土づくりと化学合成農薬と化学肥料由来窒素成分の両方について、地方自治体等で定められた慣行栽培の基準から約20%以上削減した栽培。

新しい「そばマップ」完成!!!

平成13年に作成されて以来大変好評を得ていた、南会津産そばが食べられる店・地粉販売店・そば打ち道具扱い店などを掲載している、「そばを訪ねて会津高原そばマップ」(以下「そばマップ」という)については、新たな掲載希望やデータの更新を希望する店舗があったことから、今回新たに改訂しました。

改訂した「そばマップ」は、各町村担当者の御協力により新たな店舗を掲載することができたことや、南会津保健福祉事務所の御指導により温泉の表示や店自慢の文言について、法律に準拠した記載内容にすることができたことなどが大きな改正点です。

今後は、南会津郡内はもとより、首都圏に対しても「そばマップ」を広くPRすることにより、南会津産そばの振興・消費拡大を図っていきたいと思いますので、みなさんも是非「そばマップ」掲載店舗に足を運んでみてください。



なお、「そばマップ」が欲しい方は、南会津農林事務所地域農林企画室まで御連絡ください。

(地域農林企画室)



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
[基本研修]		
①就学期体験研修 緑の学園 (前期) (※高校3年生に限ります)	7月28～29日	農業短期大学校 (矢吹町)
[農業機械研修]		
①基本編 工作用機械の安全操作	7月12日 (火)	農業短期大学校 (矢吹町)
②応用編 小型農業機械の点検整備	7月5日 (火)	農業短期大学校 (矢吹町)
[農産加工研修]		
①ふくいぶぎ (大豆) の豆腐・生ゆば加工	7月14日 (木)	農業短期大学校 (矢吹町)

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 0241-62-5866 / 農業普及部 0241-62-5262



お問い合わせ先はこちら

〒967-0004
 福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1
 南会津農林事務所 地域農林企画室
 TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256
 電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp
 ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています。
 この広報紙は古紙配合率100%再生紙とSOY (大豆油) インキを使用しています。